

## アジア共同学位開発プロジェクト

小川 佳万

アジア共同学位開発プロジェクト・ディレクター

本プロジェクトは、平成 23 年度～平成 27 年度の 5 年間、概算要求特別経費「東アジアにおける国際的教育指導者共同学位プログラムの開発研究」（事業名「アジア共同学位開発プロジェクト」）として実施している。

これまでの 3 年間の成果をもとに、平成 26 年度は具体的な教育プログラムの運営を目標に、関係者一丸となり、プロジェクトに取り組んできた。本稿では (1) 実施体制、(2) 国際共同教育プログラム開発、(3) 学生受け入れ・派遣、(4) 国際シンポジウムについて振り返る。

### (1) 実施体制

前年度の実施体制を引き継ぎつつ、「実践開発部門」と「研究開発部門」を新たに設置した。教職員と事務局からなる推進会議を月 1 回開催しプロジェクト全体方向性や重要懸案事項の検討を行なった。「実践開発部門」と「研究開発部門」は随時開催し、新たな教育プログラムの在り方をはじめさまざまな案件を処理した。

また、専任教員を新たに 1 名採用し、新しく創設された Asia Education Leader Course の運営体制を充実させた。これにより、専任スタッフは、専任教員 3 名、研究支援者 1 名、事務職員 1 名となった。

### (2) 国際共同教育プログラム開発—Asia Education Leader Course 創設

平成 26 年 1 月に南京師範大学、国立政治大学、台湾師範大学、高麗大学の連携大学の代表が参加して開催された合同検討委員会での合意を受け、2014 年度よりアジア教育指導者養成コース (Asia Education Leader Course : AEL Course) を創設した。同コースは、東北大学大学院教育学研究科をはじめ、国立政治大学教育学院 (台湾)、国立台湾師範大学教育学院 (台湾)、南京師範大学教育科学学院・心理学院 (中国)、高麗大学校師範大学 (韓国) の 5 大学 6 部局 (連携大学) が共同運営するものである。各大学・部局は、夏季及び冬季の長期休業期間に開催される集中セミナーを順番で担当し、各大学からの参加学生は、アジア諸国で開催される集中セミナーにそれぞれの国から参加する。

AEL Course で提供される科目は、これまで AJP が提唱してきた“KASP”領域から構成されている。すなわち、①教育に関する高度な専門的な知識 (Knowledge)、②東アジアに対する理解と共感的態度 (Attitude)、③教育研究技法と東アジアの言語の習得 (Skill)、

④世界に開かれた人的ネットワークの形成と情報発信（Practice）である。連携大学ではこれらのクラスターに合うよう、各大学独自性を持った科目が提供されている。

参加学生は、この“KASP”からそれぞれ1科目以上、合計12単位以上の履修が求められており、特に Practice クラスターでは、2か国以上において履修することが定められている。したがって、学生は最低2か国以上訪問することになる。そこでは、自国の学生のみならずアジア諸国の学生とともに学ぶことになる。上記条件をクリアした学生には、AEL Course Certificate が授与される。

AEL Course Web サイト <http://www.sed.tohoku.ac.jp/~ajp/aelc/top.html>

### （3）学生受け入れ・派遣－AEL Summer / Winter Course の開催

AEL Course の創設にともない、2014年7月に東北大学で AEL Course Summer Course 2014、2015年2月に国立政治大学（台湾）で AEL Course Winter Course 2015 が開催された。Summer Course 2014 には、海外から12名、日本から6名の学生が参加した。学生は、11日間のコース中、（K）Contemporary Education Issues in Asia、（A）Global Citizenship、（S）Data Analysis for Educational Research、（P）Support for Japanese Children and Youth、四つの科目からそれぞれ選択し履修した。フィールドワークでは、仙台白百合学園中学・高等学校や社会福祉法人わたげ福祉会、仙台市児童相談所、宮城県立精神医療センター、東北福祉大学せんだんホスピタルなどの見学を行なった。また、希望した一部の学生は、Miyagi International Association (MIA) と Sendai International Relation Association (SIRA) にインターンとして派遣した。

AEL Course Winter Course は、国立政治大学（台湾）で行なわれ、日本3名、中国4名、台湾8名、韓国1名の合計16名が参加した。学生は、（K）Emotional and Behavioral Problems in Adolescents、（A）Educational Exchange in Rival States、（S）Field Study、（P）Research Study の中から選択履修した。

### （4）国際シンポジウム・国際セミナー

「国際シンポジウム」は、本年度、1回開催した。

2014年12月、『国際的共同学位における質保証－カリキュラムと評価を考える－』をテーマとする国際シンポジウムを開催した。本シンポジウムでは、留学に伴う国際的な単位互換・成績評価の課題、そのベースとなる学位プログラムの質保証アプローチの国際的な共有化の動向から、共同学位開発に向けた質保証をいかにこなっていくかについて、実践的な側面からの探求を目指した。3人の講演者からの事例報告と指定討論を行ない、国際的共同教育の質保証についてフロアの参加者と活発な議論が交わされた。

招聘した研究者による「国際セミナー」については、本年度、1回開催した。

最終年となる平成 27 年度には、これまでの実践及び研究成果をまとめ、共同学位開発に向けた具体的提言を行なう。

平成 26 年度 主な活動状況

月	内 容
4 月	陳思聡プロジェクト専任助教着任 「Asia Education Leader Course」登録生の募集開始。 「Asia Education Leader Course Summer Course 2014」参加者の募集開始。
5 月	
6 月	外部評価委員会開催 ニュースレター (AJP PRESS vol.6, vol.7) 発行。
7 月	「AEL Summer Course 2014 in Tohoku University」開講
8 月	
9 月	
10 月	国際セミナー「高等教育の国際化⑦」 International Trend of Student Mobility in Taiwan／湯志民院長（国立台湾政治大学・教育学院）、陳榮政准教授（国立台湾政治大学・教育学院） 「Asia Education Leader Course」登録生の募集開始。 「Asia Education Leader Course Winter Course 2015」参加者の募集開始。
11 月	ニュースレター (AJP PRESS vol.8) 発行。
12 月	国際シンポジウム 国際的共同学位における質保証－カリキュラムと評価を考える－ 講演 1：東北大学スピントロニクス国際共同大学院プログラム／平山祥郎（東北大学・教授） 講演 2：国際共同教育における教育方法と評価－大阪大学の実践から／山本ベバリーアン（大阪大学・教授） 講演 3：AIMS - ASEAN International Mobility for Students- Curriculum Management／Aishah Binti Abu Bakar (University of Malaya・Senior Lecturer) 指定討論：小尾晋之介（慶應義塾大学・教授）
1 月	「AEL Winter Course 2015 in National Chengchi University」開講
2 月	
3 月	年次報告書「アジア共同学位開発プロジェクト 実施報告書 2014 年度」刊行（予定）。 シンポジウム報告集（Ⅶ）「国際的共同学位における質保証－カリキュラムと評価を考える－」刊行（予定）。 ニュースレター (AJP PRESS vol.9) 発行（予定）。